



シテ・レトル

LETTRÉ

2025.9 Vol.92

リーダーズ・インタビュー

NTT都市開発株式会社

取締役 関西支店長 京都支店長

平田 聡 氏

大阪城・周辺エリアのにぎわい創出、回遊性向上に寄与

街づくりを通じ、都市の課題解決に貢献



提供:NTT都市開発株式会社

研究活動委員会

テーマフォーラム
圏域研究会

◆大阪市への成果報告会

分科会活動委員会

ワークショップの
進捗レポート

総務委員会

第34回 定例総会／親睦ゴルフコンペ／

【特別企画】大阪・関西万博視察

前副会長&新副会長・委員長・事務局長メッセージ



大阪城・周辺エリアのにぎわい創出、回遊性向上に寄与 街づくりを通じ、都市の課題解決に貢献

大阪市の観光拠点であり、国際都市・大阪のシンボルとして期待が高まる大阪城周辺。この南部エリアで今年3月に商業施設「なノにわ」が、5月にホテル「パティナー大阪」が開業しました。再開発プロジェクトを推進してきたNTT都市開発株式会社の平田聡取締役 関西支店長 京都支店長にNTTグループが手掛ける街づくりへの思いを伺いました。

平田 聡氏 NTT都市開発株式会社 取締役 関西支店長 京都支店長

Mr. Satoshi Hirata

生年月日 1966年7月13日

1991年 3月 専修大学 経済学部卒業

1991年 4月 日本電信電話株式会社入社

2017年 7月 NTT都市開発株式会社

2018年 6月 同 総務人事部長

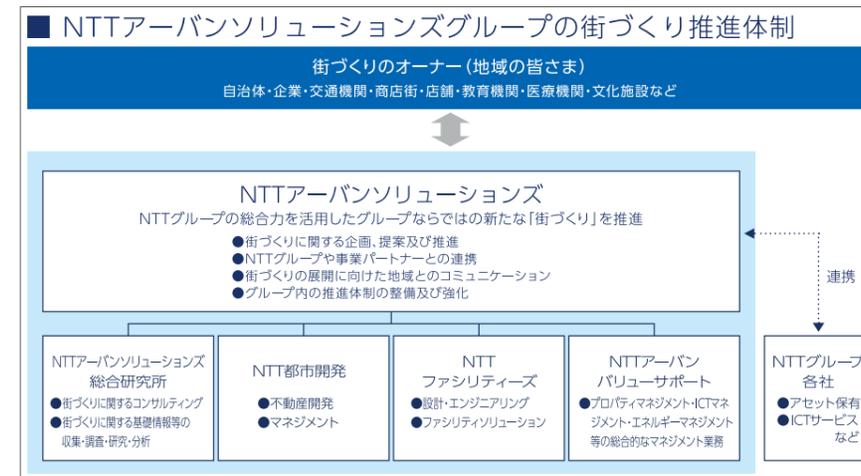
2019年 6月 日本電信電話株式会社 総務部門 担当部長

2021年 6月 NTT都市開発株式会社 取締役 総務人事部長

NTTアーバンソリューションズ株式会社 執行役員 総務人事部長

2024年 6月 同 取締役関西支店長 京都支店長

同 街づくり推進本部 副本部長



NTTグループの不動産や リソースを活用した街づくり

○平野: 最初に、平田支店長のご経歴を伺いたいと思います。

○平田: 大学卒業後、1991年にNTT(日本電信電話)に入社しました。その後、2017年にNTT都市開発に異動となり総務人事部長として2年勤めた後、持株会社に異動。2021年に取締役総務人事部長としてNTT都市開発に戻りました。

2024年に取締役関西支店長、京都支店長に着任。総合不動産デベロッパーとして住宅事業、ビル・商業事業、オフィス、物流、ひいては街の再開発などを担当しています。

○平野: NTTアーバンソリューションズとNTT都市開発はどういう関係性にあるのでしょうか。

○平田: 街づくりを推進する会社として

2019年に設立されたのがNTTアーバンソリューションズです。当社を含むグループ4社が同社の傘下に入り、コンサルティングや不動産開発、設計・エンジニアリングといった4社それぞれの強みとNTTグループの総合力を生かした街づくりを通じて、都市の課題解決に貢献しています。

そのグループの一員である当社は、グループ内唯一の不動産デベロッパーとして、創立以来約40年の歴史で培った知見や技術を活かし、アーバンソリューションズ体制の中、街づくりを推進していく役割を担っています。ビルやマンション単体ではなく、NTTの不動産アセットを起点として街全体が盛り上がるような街づくりを指向しています。

○平野: NTTアーバンソリューションズグループはこれまでにどのようなプロジェクトを手掛けられたのでしょうか。

○平田: 関わるプロジェクトのエリアは広く、

北は北海道から南は九州まで日本全国で街づくりに取り組んでいます。例えば2024年3月にオープンした「アーバンネット仙台中央ビル」や、今年4月に宮崎市でグランドオープンした複合商業施設「HAROW(ハロウ)」などがあります。これらはかつてNTTが所有していた電話局ビルの再開発を通じ、街づくりに貢献したものです。このように、NTTグループCRE(Corporate Real Estate)つまり、企業が保有する土地や建物を中心とした不動産の利活用と、NTTグループが持つリソースの活用を通じた街づくりにより、社会的課題の解決に取り組んでいます。

大阪を東西に貫く都市軸で にぎわいの創出、 歴史の発信・承継

○平野: 大阪市では大阪城南部エリアの再開発を手掛けられたそうですね。

○平田: NTT西日本の本社が2022年に法円坂から京橋へ移転することになり、法円坂の跡地利活用についてNTT西日本とNTTアーバンソリューションズ、当社および大阪市など関係各所の協力のもと検討を進めてきました。

法円坂と京橋は、大阪城周辺エリアから大阪・関西万博でにぎわう舞洲・夢洲エリアを結ぶ東西軸*1上にあり、国際都市・大阪のシンボルとして、またインバウンド需要を取り込む観光拠点として重要な都市軸と考えられています。

この「東の拠点」に今年3月、商業施設「なノにわ」を、5月にホテル「パティナー大阪」を開業しました。これらのプロジェクトは、大阪府・市が「大阪のまちづくりグランドデザイン」において掲げている「回遊性の向上」を具現化したものとなります。

なノにわの開発にあたっては、ロケーションとなる難波宮跡公園が果たすべき「三つの役割」を設定しました。史跡の本質的価値を伝えるとともに、市民の暮らしに寄り添う「歴史公園」。市民がしたいこと・できることが増える「都市公園」。大阪の歴史と人をつなぐ「街の結節点」。これら三つの役割を、ハード・ソフト両面から果たすことで、コンセプトである「みんなのにわ なにわのみや」を実現します。当社は大阪市初のPark-PFI**2事業や難波宮跡(南部ブロック)管理運営事業に携わり、



*1: 東西軸…大阪・関西万博が開催されている舞洲や夢洲エリア【西の拠点】とビジネス・観光の拠点である京橋・森ノ宮などの大阪城周辺エリア【東の拠点】をむすぶ軸

**2: Park-PFI…都市公園において飲食店、売店等の公衆対象公園施設の設置または管理を行う民間事業者を公募により選定する手続き



商業施設「なノにわ」オープニングセレモニー(2025年3月28日)

現在13店舗の商業施設、ホテル、園地整備など法円坂街区一体での運営を通じて、エリア全体の魅力向上に取り組んでいます。

○平野: 先日なノにわに行ってみたのですが、個性豊かなお店がたくさんあり、非常に楽しく過ごすことができました。難波宮跡公園もARを活用して歴史を感じられるような仕掛けがあり面白かったです。

○平田: パティナー大阪は2021年に大阪都市計画特定街区「法円坂北特定街区」が都市計画決定され、大阪城・難波宮跡周辺エリアの「歴史・観光拠点」としての発展、国際競争力強化に資するホテルとしての機能をめざし、開発したものです。

世界各地でホテルを運営しているカペラホテルグループ(本社:シンガポール)とホテル運

営委託契約を締結。「パティナー」とは大阪城の屋根の色でもある「緑青」の意味で、大阪城の石垣をモチーフにした外壁やホテルの内装にも大阪城を意識したしつらえがちりばめられています。これらにカペラホテルグループが提供するホスピタリティを組み合わせ、新しい価値観と歴史と文化を融合させることで、唯一無二のホテルをめざしています。また、この物件は「BELS^{※3}」認定の最高評価5つ星、「ZEB Oriented^{※4}」認証を獲得したほか、(公財)都市緑化機構が認定する社会・環境貢献緑地評価システム「SEGES」を大阪で初めて取得し、サステナブルな社会の実現にも貢献しています。

○平野: 大阪城周辺(南部エリア)における魅力向上、にぎわいづくりについて今後どの



ように取り組まれますか。

○平田: おかげ様で、なノにわは開業以来、都心にありながら豊かな自然や歴史が感じられる公園として地域の皆さまや、国内外から来られた大阪城の観光客など、多くの皆さまにご利用いただいています。また地元大阪を中心とした個性際立つ魅力的な飲食や物販13店舗を併設しており、公園と連続した開放的な店舗やテラス席で歴史遺構や芝生広場を眺めながらフードやドリンクをお楽しみいただくなど、にぎわいも見せています。地域の皆さまや国内外の観光客の皆さまがこの場所に集い、憩う場として、また歴史を感じる場として、この街の価値向上のお役に立てたら良いと思っています。

また、この街の歴史・文化を発信しつつ皆さまに楽しんでいただけるなノにわの魅力向上イベントも開催していきたいと考えています。



GLION ARENA KOBEの外観(夜景)

270度を海に囲まれる 神戸・新港エリア 関西最大級の多目的アリーナで活性化

○伊藤: 今年4月、神戸市の新港エリアに開業した「GLION ARENA KOBE」も御社が手掛けられたそうですね。

○平田: 新港エリアの第二突堤に位置し、270度を海に囲まれる絶景のロケーションにある関西最大級1万人規模の多目的アリーナです。

神戸市はこのエリアにおいて①イベント集客による広域からの交流人口の増加、②地域の新たなシンボル・コンテンツによる街の活性化、③スポーツチームのホームチーム誘致や住民向け各種イベントによる地域住民の一体感の醸成によってにぎわいの創出をめざし、「神戸ウォーターフロント再開発事業」を推進してきました。

2021年にNTTドコモのICT事業の強みを掛け合わせたスポーツ・エンターテインメント施設を整備するほか、イベントのない日でも人々が集い、憩い、楽しむことができるように、周辺一帯の水際にオープンスペースを整備。その後、スマートバリュー社とNTTドコモが出資するOne Bright KOBEがアリーナの運営会社となり、国内で初めて「港湾環境整備計画(みなと緑地PPP^{※5})」の認定を受けました。民設民営のアリーナとして、プロバスケットボールBリーグのホームゲームだけでなく、国内外のアーティストのライブやMICEなどさまざまなイベントが計画されています。

○伊藤: 私も現地に足を運び、アリーナを拝見しました。270度を海に囲まれたロケーションの素晴らしさが印象に残るとともに、夜

にライトアップされると観光地としてもより幻想的なスポットになるだろうと感じました。

○平田: 建物の形状として屋根が斜めに傾斜しているので、ライトアップされると海に浮かぶ鳥の羽のように見えます。「港町・神戸」のイメージにマッチした姿を現します。

安心・安全、笑顔で暮らせる 社会の実現に貢献したい

○伊藤: 今後、御社が手掛ける街づくりプロジェクトの方向性はどのようにお考えですか。



○平田: 街づくりについてはさまざまな自治体さんからお声がけをいただいています。NTTアーバンソリューションズグループのスローガンは「あなたと、まちと、みらいをつなぐ。」です。現在は、急速に進むデジタル化や環境意識の高まり、サステナブル社会への転換など、社会が大きく変わろうとしています。今後もさまざまなステークホルダーと連携し、NTTアーバンソリューションズグループの強みである、コンサルティング力、不動産開発力、設計・エンジニアリング力などを集結して、NTTグループが長年にわたって育んできた地域とのつながりを大切に、街づくりをサポートすることにより、誰もが安心・安

全で、未来の子どもたちが笑顔でいられる社会の実現に貢献していきたいと考えています。

街の成長、発展の起点になる 価値ある取り組み

○伊藤: 最後に、CITÉさろん活動や会員企業に対してひとこといただけますでしょうか。

○平田: CITÉさろんの活動は、今年で34年目になるとお聞きしました。これだけ長きにわたり、異業種の方々が交流する街づくり団体は希少だと思います。

単に建物をスクラップ&ビルドするだけでなく、その価値を周囲の人たちに合わせて、街区全体をどうしていくか。エリア全体をどうしていくか。もっと言うと、大阪市、大阪府、関西全体をどうしていくかといった視野の広げ方をできるような人材と一緒に勉強会をされて、議論を深めておられます。

将来の大阪、関西、日本をどうしていくかを考える機会として、こうした経験を積まれるのは非常に素晴らしいことだと思いますし、ここで勉強された知見を、各企業での活動に生かす。ひいては街の成長、発展の起点になっていく、大変価値がある取り組みだと思っています。CITÉさろんの活動がますます活発化し、この先、40年、50年……と続いていくことを期待しています。

○平野・伊藤: さまざまなノウハウを蓄積してこられたNTTアーバンソリューションズの各社がそれぞれの強みを生かし、エリアごとの課題や地域の特性に寄り添い、解決していく。そこには地域の方も巻き込んで注力されていることが非常に印象に残りました。本日はありがとうございました。



アーバンネット御堂筋ビル屋上で撮影

インタビュー |

CITÉさろん広報委員会委員
伊藤 徹也 氏
飛鳥建設株式会社 大阪支店
土木営業部長
CITÉさろん WSメンバー
平野 里美 氏
阪急電鉄株式会社
都市交通事業本部
沿線まちづくり推進部 課長

取材日 | 2025年7月4日(金) 14:00~15:30



商業施設「なノにわ」のイメージ(南東側より)

※3: BELS…建築物の省エネルギー性能を評価・表示する制度、「Building-Housing Energy-efficiency Labeling System」の略
※4: ZEB Oriented…設計段階での年間の一次エネルギー消費量を基準より30~40%以上削減した、延床面積10,000平方メートル以上の非住宅建築物のこと
※5: PPP…Public Private Partnershipの略。公共施設などの建設、維持管理、運営などを行政と民間が連携して行うことにより、財政資金の効率的使用や行政の効率化などを図るもの

テーマフォーラム

本フォーラムでは、関西都市圏を「幸福な生活圏」とするための展望について、官・学の有識者による講演が行われました。大阪大学の青木助教からは、CITÉさろんでの4年間の圏域研究成果を踏まえた新たな関西都市圏像について、近畿地方整備局の長谷川局長からは「関西広域地方計画」について幅広い視点から報告がなされました。

郊外の変化を踏まえた新たな関西大都市圏像

大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 助教
青木 嵩氏

都市圏構造の現状と課題



京阪神都市圏は2000年代以降、3分の2の自治体が人口減少に転じており、新たな都市圏像が求められています。地理的分布を見ると、増加・減少地域はそれぞれまとまって分布しています。一部の鉄道駅周辺では低密度化が進行しており、将来的には都心部にも人口減少エリアが発生しそうです。

コンパクトシティの実現には自然に任せると半世紀以上を要しますので、それぞれの駅が適度に栄える多極的なコンパクト化に誘導すべきです。

郊外居住者の変容

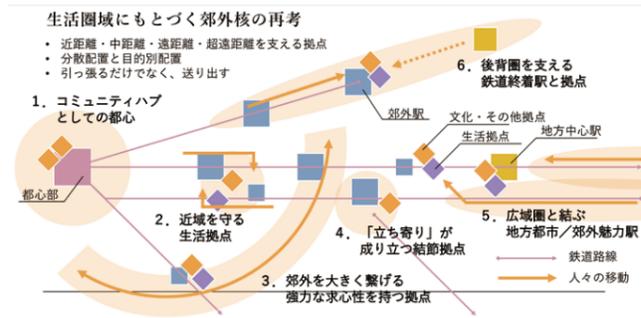
京阪神郊外では夫婦ともに正規雇用が半数近くに達しています。一方、郊外で働く人、暮らす人は相対的に低所得というデータも出てきています。かつての「中・上流階級の住む郊外」は過去のもの、貧困リスクが高まっています。ライフスタイルの多様化により、都心や賑やかな場所、歴史的な地域を嗜好する人も増加しています。ニュータウン自体も多様化し、流入する年齢層、職業、所得が分化しています。今後の郊外には、豊かで多様な選択肢の提供が求められています。

生活行動圏の多様化

人々の生活行動圏は「都心ー郊外」から「郊外ー郊外」「郊外ー地方」などへと多様化しています。CITÉさろんに参加する鉄道7社のデータ連携により、郊外から郊外への移動が意外に多い実態が明らかになりました。買い物や余暇活動、働く場が郊外に広がりがつあります。居住地と勤務地が駅周辺で完結する郊外も見られます。都心を飛び越えた郊外間移動も少なからず存在し、都心は今後、郊外間を結ぶ日常的なコミュニティの場になると予想されます。

新たな郊外像の提案

これからの郊外は、多彩な街の中から、誰もが自分のライフスタイルに合った街を選んで暮らせる「寛容な都市圏」を目指すべきです。郊外核は、生活拠点、集客拠点、文化・歴史拠点などが、多様かつ分散してあることが望まれます。関西は甲子園、宝塚など、郊外に歴史・文化の中心地が重層的に存在しており、ポテンシャルは高いので、更に豊かにしていくことが重要です。



関西広域地方計画の特徴とその位置づけ

近畿地方整備局長 長谷川 朋弘氏

国際的に魅力ある都市の形成

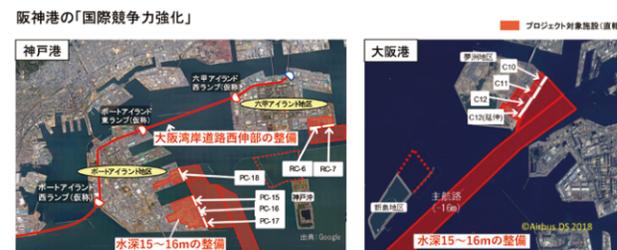
関西圏から関東圏に大きく人口が転出超過しており、特に新卒就職期の転出超過が著しいです。一方、関西圏の訪日外国人は観光・レジャー目的が多いのが特徴です。関西圏が活況を取り戻すには、国際ビジネス拠点として、新しく潤いのある街並みが求められます。そのため、梅田、御堂筋、新大阪などの民間開発を積極的に支援しています。また、なにわ筋新線などの交通ネットワーク整備や水都復活を意図した人中心の街並み形成に取り組んでおり、御堂筋の側道歩道化は一部完成しています。

国際競争力強化と生産性向上

世界各国がインフレ基調中、また、関東圏に比べて、関西経済の相対的地位が下がっています。企業が東京に本社を置く理由は「取引先が多いから」が最も多いので、関西圏への移転には、交通・物流の整備が重要です。実は関西は、道路整備率が低く、阪神港もコンテナ大型化に対応できていません。現在、大阪湾岸道路や淀川左岸線などのネットワーク強化や大水深の港湾の形成に取り組んでいますが、世界レベルから見ると、まだまだ不十分と考えます。

【基本方針】阪神港の大水深・大規模コンテナターミナルの形成

船舶の大型化や取扱貨物量の増大に対応するため、国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の大水深・大規模コンテナターミナルの形成に向けて、機能強化を着実に推進していく。



船舶の大型化に対応するため、神戸港・大阪港において水深16mの航路やコンテナターミナルの整備を推進

2025年5月23日(金) 15:45~17:40 ホテル阪急インターナショナル 4階「紫苑」

プログラム



水方委員長による主旨説明

- 開会挨拶 / CITEさろん 研究活動委員長 水方 秀也氏
- 基調講演
演題：「京阪神都市圏における生活圏域および郊外核の可能性」
講師：大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 助教 青木 嵩氏 (CITÉさろん圏域研究会アドバイザー)
- 特別講演
演題：「関西が幸福な生活圏になることをめざして」
講師：近畿地方整備局長 長谷川 朋弘氏
- 閉会挨拶 / CITEさろん 副会長 谷 貴文氏

地方部の生き残り戦略

関西圏の地方部は人口減少、高齢化が進んでおり、空き家率も増加しています。鉄道の輸送人員も減っており、一部路線では継続が危惧されています。広域地方計画の基本方針は「コンパクト+ネットワーク」です。和歌山市は公共施設再編や空き店舗リノベーションを推進して「コンパクトなまちづくり大賞」を受賞しました。もう一つは「地域生活圏」です。複数の自治体が企業と連携して、共同でマネジメントしていく必要があります。カギになるのはデジタル技術ですが、低コストで持続的な取組とするのが重要です。



最新の動向

2024年の大阪圏の人口動態が転入超過に転じました。特に、20代前半の転出者が3100人から1700人と減少したのが目立ちます。関西圏の魅力が増したのが一因かもしれません。

質疑・コメント

青木先生：転入超過になったのは「学生の地元への貢献意欲」が要因の1つかと思います。

大林組・橋本委員長：関西は2005年にカナダのGDPに匹敵していましたが、現在は半分くらいです。何があったのでしょうか。

長谷川局長：日本経済が停滞したためです。ちなみに、日本の高速道路延伸距離は50年掛けて1万4千キロですが、中国は1年で1万キロ造っています。上海港も含めて、インフラは完全に中国に抜かれています。

青木先生：日本は開発余地が少ないので、どう既存のインフラを改善していくかを考えるべきです。経済指標+αで関西を選んでもらえるよう取り組んでいくべきでしょう。

篠原顧問：郊外核の東西比較に関して、青木先生に詳しくご説明頂けますか。

青木先生：関西は関東に比べて郊外に歴史的町並みがたくさんあります。これを活用して居住者や観光客を集めていくことが重要

です。静かな時間を1人で過ごしたい人、皆でワイワイ楽しみたい人、色んな人のための郊外核であること、歴史性もその一要素であるべきです。

大阪市・山田局長：大阪府・市は次の成長戦略の指標として「クオリティ・オブ・ライフ」を考えていますので、青木先生の「自己実現の選択肢を増やしていくことが幸福生活圏」という考え方には賛同します。我々も、圏域全体を見た上での都心のあり方を考えていきます。JR西日本・谷副会長：青木先生にはデータに基づく説得力のある講演を頂きました。長谷川局長には関西圏の課題と国としての多彩なまちづくりの戦略をご教示頂きました。魅力ある郊外と都心、それを結ぶ鉄道を含めて、多彩な魅力のある幸福生活圏を作っていくために、CITÉさろんは今後も皆さんと共に活動していきます。

まとめ

本フォーラムを通じて、関西都市圏が「幸福な生活圏」となるためには、従来の「都心就労ー郊外居住」の認識から脱却し、多様性に富んだ都市圏構造への転換が必要であることが明らかになりました。郊外の変容と生活行動圏の概念を踏まえ、それぞれの地域が独自の魅力と機能を持ちながら、相互に連携する新たな都市圏像の構築が求められています。

国際競争力の強化と地方部の持続性確保という2つの課題に対しては、インフラ整備とコンパクト+ネットワークの理念に基づく戦略的な取り組みが不可欠です。関西の持つ歴史・文化的資源と現代的な都市機能を融合させ、多様な属性を包み込む「おもろい」都市圏の実現に向けて、官民一体となった継続的な取り組みが期待されます。

(研究活動委員会：水方)



講師
青木 嵩氏
大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 助教
CITÉさろん圏域研究会アドバイザー
1991年神奈川県生まれ。2018年 関西学院大学 大学院総合政策研究科修了(総合政策)。2021年 同博士後期課程修了(学術)。2021年 大阪大学大学院工学研究科助教 現在に至る。



講師 長谷川 朋弘氏
近畿地方整備局長
1965年神奈川県生まれ。1992年 東京大学大学院工学系研究科修了。1992年 建設省入省。道路局地方道・環境課 課長補佐等を経て中国地方整備局 岡山国道事務所長、その後、道路局総務課 企画専門官、道路局国道・防災課 道路保全企画室長、長野県建設部長、道路局国道・技術課長、大臣官房審議官(道路局担当)を経て、2024年5月近畿地方整備局長就任。

ワークショップの進捗レポート

各ワークショップでは、酷暑の中、現地調査・ヒアリングを精力的に行いつつ、年度内のとりまとめに向けてほぼ2カ月に1回のペースで座長の先生と全体ミーティングを開催しています。

WS1 交通関連施設の公共性

座長: 吉田 長裕 氏
大阪公立大学 大学院
准教授
参加者: 21名



- 東京方面では、下北線路街の視察や東京都や民間各社のイノベーション施設の見学及びヒアリングを実施しました。
- 九州方面では、天神地区での新しい水辺の公園や九大学研都市駅前モビリティハブなどを視察すると共に、福岡市がリードするスタートアップ支援施設の見学およびヒアリングを実施しました。
- 近郊では、タグポート大正の視察や、京都リサーチパークの見学およびヒアリングを実施しました。

WS2 立体的に都市をリ・デザインする

座長: 山口 敬太 氏
京都大学 大学院
准教授
参加者: 24名



- 海外視察として、上海の大型面開発事例について日建設計現地事務所にヒアリングするとともにウォーターフロント開発やランドマークとなっているエリアについての視察を実施しました。
- 長崎スタジアムシティの視察およびヒアリングを実施すると共にハウステンボスについて視察を行いました。
- 梅田と渋谷・新宿を対比させながら都心ターミナル駅の再開発事例を視察し、開発経緯等のヒアリングを実施しました。
- 北加賀屋周辺のまちづくりについて視察と地元の大規模地権者に対するヒアリングを行いました。

WS3 Green, Food, Energy, Water and Wasteの観点から都市生活のWell-beingを考える

座長: 鍋島 美奈子 氏
大阪公立大学 大学院
教授
参加者: 22名



- 北海道の2か所のワイナリーの視察及び北海道ボールパークFビレッジ内にある農業学習施設クボタ・アグリ・フロントの視察・ヒアリングを行いました。
- 東京方面では、清水建設技術研究所の視察・ヒアリング及び大手町ビルの屋上スカイ・ラボ、深川ワインガーデンなどの視察を行いました。
- 柏原市にあるカタシモワイナリー及びブドウ園、周辺の歴史スポットを視察すると共にカタシモワインフード株式会社にヒアリングを行いました。

圏域研究会

◆大阪市への成果報告会

大阪府役所で「圏域研究会」成果報告会を開催。「幸福生活圏・関西」実現に向けたシナリオや郊外核の可能性について報告。大阪市から郊外を含めたWell-Being重視のまちづくりに共感が示され市内周辺部での取り組みについて意見交換した。

開催概要

日時: 2025年8月6日(水) 10:30~11:30

会場: 大阪府役所5階 中応接室

出席者: 16名(大阪市8名、CITÉさろん側8名)

■大阪市: 高橋副市長

計画調整局: 山田局長、福元理事、深見企画振興部長、荒木計画部長、岩本開発調整部長 ほか

■CITÉさろん側: 田中会長、

研究活動委員会: 谷副会長、水方委員長、小原副委員長、ほか
(圏域研究会アドバイザー) 大阪大学大学院工学研究科 青木先生、
(外部委託先) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
沼田上席主任研究員

要旨報告

水方委員長による趣旨説明に続き、沼田上席主任研究員が「幸福生活圏・関西」実現に向けたシナリオを報告。青木先生が京阪神都市圏における生活圏域および郊外核の可能性について説明。小原副委員長が関西鉄道7社の視点から今後の展開を説明し、その後、意見交換を行いました。

《CITÉさろん側の主な説明》

○沼田上席主任研究員

- ポストコロナにおける関西のコンセプトを「幸福生活圏・関西」一少子高齢化・人口減少に伴う閉塞感の突破口を関西から開く一としている。
- 幸福生活圏に向けてめざす関西の姿の基本理念として「多様で質の高い選択肢の中から、それぞれがより良い生き方(Well-Being)を主体的に選び、様々なコミュニティにおいて能動的に関わりながら暮らすことができる」を掲げている。

○青木先生

- 「用途」ではなく「要素」で郊外核を捉える。同じ余暇活動でも、個人で楽しむ場合と交流を目的とする場合で帯びる機能性は異なる。
- 京阪神都市圏内で形成し得る繋がりを中心核の「パターン」は様々。都心のみならず、郊外駅に位置する駅も中心核(郊外核)となり得る。
- 近接~長距離までの生活圏が形成し得る中で行動範囲は拡大する。
- 郊外核も活用した多極分散構造を形成し、使い分けを通じた相互扶助の関係を構築する必要がある。

○小原副委員長

- 7鉄道会社の人流データを分析・結果を踏まえたキーワードを「重層的な多極連携~競争から共創へ」とした。
- そのため、交通ネットワークのソフト面・ハード面の共創が必要。
- 鉄道会社が行うまちづくりとして、人流(賑わい)をどう作るかが鍵で、結節点での連携した開発・まちづくりが重要。駅を鉄道利用者以外の沿線住民向けの目的地化していく必要がある。



《意見交換》

○高橋副市長

- コロナ時に在宅勤務が増加し人の移動が減少した際、都心を働く場以外にも文化・学習・娯楽の場として磨く検討を行った。その延長で郊外を含めて考えるのは重要である。



- Beyond EXPO2025の検討において、従来の成長戦略一辺倒ではダメで、経済成長+aとしてWell-Beingの観点を取り入れた大阪都市圏のあり方を考えており、まさに同じ考え方である。
- 研究対象の郊外を市内周辺部に置き換えると、郊外核をつくる考え方は重要である。大阪市でも北高南低の格差課題があり、南エリアをテコ入れしたい。

○山田計画調整局長

- グランドデザイン大阪策定時に府域全体の各市町の個性を磨き、いろんな人を選択されるまちづくりのため『人中心のまちづくり』を目標に掲げた際もWell-Beingが必要という考えがあった。
- 市内周辺部では、長吉や矢田南部で市有地活用のまちづくりや、容積ニーズがある箇所では都市計画手法も活用しながら進めている。

○荒木計画部長

- 今回の検討は参考になり、弁天町や淡路で市有地を活用して動かしていきたい。ただし、とがった機能はなかなか事業スキームにはまってこないという課題もある。

○岩本開発調整部長

- 周辺部では区が主体となってビジョンを策定し、まちづくりを進めているが、そこだけで考えると限界もあり、周辺部同士の回遊性を高めていくことが重要である。

○青木先生

- 淡路駅は大阪・京都だけでなく大学がある千里線にもつながるので、働く人だけの動きを捉えた開発では従来と変わらない。Well-Beingは働く世代だけでなく学生や次世代も考慮し、彼らが豊かに生活できる場所を考える必要がある。
- 郊外核の周辺に界隈性がないという議論をしていたが、界隈性を残すことで豊かな生活をつくれる。

○沼田上席主任研究員

- 民間も含めて夢のあるまちづくりを考えることが重要。過去の構想には夢があり、武庫川女子大学管理の旧甲子園ホテルや甲子園球場など気宇壮大があった。採算性は重要だが100年先を見据えて何をつくるかも考える必要がある。

○小原副委員長

- 阪神なんば線開通後、奈良と三宮の移動が増加し、三宮駅利用者が8万人から10万人に増えた。観光目的や通学が増加していた。東西路線の影響は大きく、今後のなにわ筋線の影響も大きいと考えられる。

○谷副会長

- 一つずつの拠点も大事だが完結することはなく、都心と個性のある拠点を交通ネットワークで繋ぐこと、点ではなく全体で考えることが大事だと分かった研究であった。

(研究活動委員会: 水方)



第34回 定例総会

日時: 2025年5月23日(金) 15:00~15:40
会場: ホテル阪急インターナショナル 4階「紫苑」

定例総会は、大阪市の山田計画調整局長、岩本開発調整部長、池田地域開発担当課長代理の出席のもと、田中会長からの挨拶により始まりました。その後、田中会長を総会議長に選任し、事務局より、第1号議案2024年度(第33期)事業報告及び収支決算について説明が有りました。そして2024年度決算の監査結果について、会計監事を代表して清水建設株式会社 赤木会計監事より、適正に決算処理されている旨の監査報告が有り、採決に移り、原案通り承認されました。

続いて、第2号議案2025年度(第34期)事業計画及び同収支予算案については、4年間の圏域研究のスピノフとして「郊外核研究」を行うこと他、各委員会の例年通りの事業について活動方針が事務局より説明された後、採決に移り、原案通り承認されました。

その後、報告事項に移り、役員交替の報告として、まず、24年度末をもって退任された研究活動委員会担当副会長 上田氏(株式会社KANSOテクノス)の後任に西日本旅客鉄道株式会社の谷氏、谷分科会活動委員会委員長の後任に阪急電鉄株式会社の抱江氏の就任が報告されました。



田中会長からの挨拶



赤木会計監事からの監査報告



新役員からの挨拶



説明を聞く会場参加者の様子

親睦ゴルフコンペ

日時: 2025年7月19日(土)
会場: キングスロードゴルフクラブ

2025年度の親睦ゴルフコンペは昨年に引き続き、キングスロードゴルフクラブにて「若手を含む参加者の拡大、会員間のさらなる親睦の促進」を目的として、企業対抗形式でのコンペを企画、実施しました。また、総務委員会ゴルフ担当(今年度から総務委員会内で主なイベントを担当分け)、事務局、橋本委員長等の連携により、総勢7組27名(ペア13組+個人1名)という非常に多くのご参加を頂くことができました。当日は、猛暑の中、誰一人ギブアップ(バンカーでのギブアップがあったのかなかったかな?) することもなく和気あいあいの中にも内に秘めた闘志?でラウンドされていました。

終了後の表彰式では、総務委員会ゴルフ担当(松井さん、安田さん)の名司会(アドリブ)もあり大いに盛り上がった表彰式となり、本企画の目的であった会員間の親睦の促進と徐々にではありますが若手の参画も図られたのでは、と思います。

参加頂きました会員の皆様、また、景品を提供して頂いた会員企業の皆様、ありがとうございました。

次回は今回の成果と反省を踏まえ、本イベントが更により良いものにするべく、企画しますので乞うご期待ください!!

(総務委員会: ゴルフ担当)

【成績】			
団体1位	ココヨ(株)	藤山・東谷ペア	NET:74.2
団体2位	積水ハウス(株)	泉・持田ペア	NET:74.8
団体3位	NTT都市開発(株)	船瀬・加藤ペア	NET:75.6
【個人】			
優勝	積水ハウス(株)	泉	NET:71.4
準優勝	ココヨ(株)	東谷	NET:71.8
3位	NTT都市開発(株)	加藤	NET:72.0



名司会 松井・安田コンビ



参加者全員での集合写真



団体1位:ココヨ(株) 藤山・東谷ペア

お世話になった役員メッセージ

24年度、関電・高宮紀子幹事が副会長に就任、関電不動産開発が新規入会し、CITÉさろんミッションを担う関西電力グループの体制が整ったため、15年間お世話になったCITÉさろんを24年度末をもって退会しました。

2010年入会当初は、東日本原子力事故や大阪市政改革の影響もあり会員の退会が相次ぐ急減期で、とりわけ上村会長(阪急電鉄)時代は「前年度より活動の質量と予算が縮小する委員長は不要だ。魅力企画を打ち出せ」との厳命を受け、常任幹事で酒密議の日々…この知見は「CITÉさろん未来自白書」として田中会長に引継ぎました。

研究活動委員会:副委員長・委員長・副会長の要職を13年間拝命し、公共空間の民間開放、大阪食文化、圏域の3つの特別研究活動に10年邁進し、国・大阪市への成果報告など、やり切った感で一杯です。今やCITÉさろんの検討領域は多岐にわたります。今後は京大・広井良典先生から学んだ「成熟社会のデザイン」を基調に、国内外を「個性豊かな幸福生活圏&上質な成熟都市」へ創成する夢はCITÉさろん会員企業54社に託します。15年間ありがとうございました。

2025年度 新副会長&新委員長メッセージ

分科会活動委員会の委員長から研究活動委員会担当副会長に就任させていただきました。分科会活動委員会では、WS活動等を通じて講師や参加者の皆様から多くの気づき頂くことができました。

今後も会員の皆様が活動に参加して良かったと感じるCITÉさろんの更なる発展のため、会長をしっかりサポートさせていただくとともに、研究活動委員会の皆様が大いに盛り上げてこられた研究活動をさらに充実させることができるよう、委員長・副委員長はじめ委員の皆様と協力し活動して参りたいと思います。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

指定代理人を経て2023年に幹事に就任し、現在まで、皆様方と幅広く楽しく交流させていただきました。今年度より委員長を拝命し、今度は逆に、今までのCITÉさろんの活動を通じて得た様々な知識や人的ネットワークを、皆様方に少しでもお返しできるようにしたいと思います。分科会活動委員会では、ワークショップや各種研究について会員企業の若手の皆様を中心に活動していますが、この活動が個人にとって有益で、広く関西の将来のまちづくりの一翼を担うことにも繋がればなどと思ひ巡らしつつ、微力ながら努力して参りますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

2025年度 新事務局長メッセージ

本年4月に、事務局長に就任いたしました、よろしくお願いいたします。6年前に大阪市を定年退職し、その後、6年間民間会社に勤めていました。大阪市内職中の36年間のうち、出向期間を含めほとんど計画調整局に在籍しておりました。しかしながら、在職中にCITÉさろんに関わったことは無く、その実態は想像でしかありませんでした。事務局長に就任して未だ日が浅いですが、改めてその活動量の豊富さに驚いています。「あ(明るく)、た(楽しく)、ま(前向きに)で仕事をする」をモットーに、歴史ある、そして唯一無二のCITÉさろんを会員の皆様と共に、より一層元気にしていきたいと思ひますのでご協力の程、宜しくお願ひ致します。



研究活動委員会
前副会長
上田 徹氏
株式会社
KANSOテクノス
企画総務部
事業開発グループ
部長 チーフマネージャー



研究活動委員会
新副会長
谷 貴文氏
JR西日本
西日本旅客鉄道株式会社
地域まちづくり本部
えきまち創造 部長



分科会活動委員会
新委員長
抱江 卓哉氏
Hankyu
阪急電鉄株式会社
沿線まちづくり推進部
部長



CITÉさろん
新事務局長
太田 誠三氏

【特別企画】大阪・関西万博視察

日時: 2025年7月29日(火) 13:00~21:00
参加人数: 28名

大阪・関西万博に関わったCITÉさろん会員企業も多いのではないのでしょうか? このため、CITÉさろんとしても万博を盛り上げようと、特別企画として万博視察を開催いたしました。

当日は、格別の猛暑の中、参加者は昼過ぎに集合し、まず電力館を見学し、その後、昼食を兼ねた交流会をレストラン「水空SUIKU」で開催しました。次に涼しい交流会場を後にしてNTT館に向かいました。予定されたパビリオン見学の合間に、各自自由見学などを行い、最後は、水上ショー「アオと夜と虹のパレード」を鑑賞し、21時に解散いたしました。

朝の9時に入場し、1日フル活動された猛暑も居られたようですが、中々、個人では予約が取りにくいパビリオン・ショーを見ることができ、参加者の皆さんは楽しく有意義で、ちょびっと疲れた万博視察を堪能されたのではないのでしょうか? パビリオン・ショーの見学、交流会のセッティング及び当日の運営にご協力頂きました会員の方々へ改めてお礼申し上げます。



10月以降の主なイベント・スケジュール

研究活動委員会 ■圏域研究会/郊外核研究会 視察 日時: 調整中 視察先: 関西圏 ■プロジェクト見学会 日時: 2025年11月13日(木) 視察先: 広島駅ビル ■さろんトーク 日時: 2025年12月19日(金) ■自主活動プログラム 日時: 2026年1月予定 視察先: 阪神なんば線淀川橋梁改築	広報委員会 ■第1回トークセッション 兼 第1回 次代のまちづくり研究会 (広報委員会&分科会活動委員会 共催) 日時: 2025年10月15日(水) 17:00~18:30 演題: (仮)都市のり・デザインによるバリューアップと官民連携手法 講師: WS2座長 山口 敬太氏 ■第2回トークセッション 日時: 2025年12月9日(火) ■第19回 CITÉまちづくりシンポジウム 日時: 2026年2月上旬予定	分科会活動委員会 ■第2回WS運動 次代のまちづくり研究会 日時: 2025年10月29日(水) 15:00~17:30 演題: WS1運動研究会「交通関連施設の公共性」現地見学&ディスカッション 講師: WS1座長 吉田 長裕氏 ■第3回WS運動 次代のまちづくり研究会 日時: 2026年1月予定 演題: WS3運動研究会「Green, Food, Energy, Water and Wasteの観点から都市生活のWell-beingを考える」現地見学&ディスカッション 講師: WS3座長 鍋島 美奈子氏	総務委員会 ■10月定例幹事会 日時: 2025年10月30日(木) 会場: パティナ大阪 ■12月定例幹事会 日時: 2025年12月19日(金) ■2月定例幹事会 日時: 2026年2月20日(金) ■幹事研修会 日時: 2025年10月24日(金)~25日(土) 視察先: 岩手県紫波郡紫波町「オガールプロジェクト」、宮城県仙台市
--	---	---	---

Member's List

会員リスト

計54社 (50音順)



株式会社
NTTファミリアーズ



株式会社アーキエムズ



株式会社IAO竹田設計



JR西日本不動産開発
株式会社



NTTDコムビジネス株式会社



NTT都市開発株式会社



NTT西日本株式会社



株式会社大林組



株式会社奥村組



オリックス不動産株式会社



鹿島建設株式会社



カナデビア株式会社



関西電力株式会社



株式会社関西電工



関西不動産開発
株式会社



近鉄不動産株式会社



株式会社きんでん



株式会社クボタ



京阪ホールディングス
株式会社



株式会社鴻池組



コクヨ株式会社



株式会社ザイマックス関西



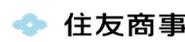
サントリー
コーポレートビジネス
株式会社



三和電気土木工事
株式会社



清水建設株式会社



住友商事株式会社



住友電設株式会社



積水ハウス株式会社



ダイキン工業株式会社



大成建設株式会社



株式会社竹中工務店



CREATIVE & FULL KNOWLEDGE
中央復建コンサルタンツ
株式会社



東京建物株式会社



飛鳥建設株式会社



南海電気鉄道株式会社



西日本旅客鉄道
株式会社



株式会社日建設計



株式会社日本設計



パナソニック株式会社



阪急電鉄株式会社



阪急阪神不動産株式会社



阪神園芸株式会社



阪神電気鉄道株式会社



富士通株式会社



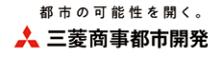
三井不動産株式会社



三菱地所株式会社



株式会社三菱地所設計



三菱商事都市開発株式会社



ユアサM&B株式会社

Event Calender 2025年度CITÉさろん イベント・カレンダー

◇2025年度の事業日程					
4/ 3	木	14:30	◆WS3 (第4回)	分科会	大阪市開発公社 区分所有者会会議室
4/ 4	金	13:30	◆広報委員会	広報	CITÉさろん事務局
4/ 8	火	16:00	◆総務委員会	総務	CITÉさろん事務局
4/ 9	水	11:15	◆会計監査	総務	CITÉさろん事務局
4/11	金	16:00	◆分科会活動委員会	分科会	CITÉさろん事務局
4/15	火	16:00	◆常任幹事会	総務	CITÉさろん事務局
4/16	水	14:30	◆WS1 (第4回)	分科会	大阪市開発公社 区分所有者会会議室
4/17	木	16:00	◆4月定例幹事会	総務	株式会社 大林組 4階 講堂
4/18	金	14:30	◆WS2 (第4回)	分科会	大阪市開発公社 区分所有者会会議室
5/15	木	13:30	◆広報委員会	広報	CITÉさろん事務局
5/23	金	15:00	◆第34回 定例総会	総務	
		15:45	◆テーマフォーラム	研究活動	ホテル阪急インターナショナル 4階「紫苑」
5/30	金	13:30	◆総務委員会	総務	CITÉさろん事務局
6/ 6	金	14:30	◆WS1 (第5回)	分科会	大阪公立大学 文化交流センター
6/18	水	14:30	◆WS2 (第5回)	分科会	大阪市開発公社 区分所有者会会議室
6/19	木	14:30	◆WS3 (第5回)	分科会	大阪市開発公社 区分所有者会会議室
6/23	月	16:00	◆総務委員会	総務	大阪市開発公社 区分所有者会会議室
6/30	月	16:30	◆常任幹事会	総務	CITÉさろん事務局
7/ 3	木	16:30	◆研究活動委員会	研究活動	大阪市開発公社 SEMBA10プレースSouth
7/ 7	月	13:00	◆広報委員会	広報	CITÉさろん事務局
7/ 8	火	10:30	◆総務委員会	総務	CITÉさろん事務局
7/ 9	水	9:30	◆分科会活動委員会	分科会	CITÉさろん事務局
7/14	月	16:30	◆7月定例幹事会	総務	梅田スカイビル スカイルーム2
7/19	土		◆親睦ゴルフコンペ	総務	キングスロードゴルフクラブ
7/29	火	13:00	◆【特別企画】大阪・万博視察	研究活動	大阪・関西万博/電力館・NTTパビリオン・アオと夜の虹のパレード
8/ 6	水	10:30	◆園域研究会 大阪市への成果報告会	研究活動	大阪市役所 5階 中応接室
8/18	月	14:00	◆総務委員会	総務	大阪市開発公社 区分所有者会会議室
8/21	木	14:30	◆WS2 (第6回)	分科会	大阪市開発公社 区分所有者会会議室
8/28	木	14:30	◆WS3 (第6回)	分科会	大阪市開発公社 区分所有者会会議室
8/29	金	13:30	◆広報委員会	広報	CITÉさろん事務局
9/ 5	金	14:30	◆WS1 (第6回)	分科会	大阪市開発公社 区分所有者会会議室

編集後記

大阪・関西万博が開幕し、当初の不人気の噂は何のその。CITÉさろんメンバーが集まると万博の話題で持ち切り。「○○パビリオンは良かったね〜」「△△パビリオンに入るのに××時間待ち」など。万博の話題に乗り遅れまいと慌てて入場・パビリオン予約しようとスマホ相手に悪戦苦闘の人も居たのではないのでしょうか？

10月の万博閉幕後は、さてどのようなことがCITÉさろんメンバーの共通の話題になるのでしょうか。未来に向けた明るい話題が出てくることを願います。

(事務局)

シテ・レトル

2025年 9月号 Vol.92

発行／CITÉさろん事務局
〒541-0055 大阪市中央区船場中央2-2-5
船場センタービル5号館2階
一般財団法人 都市技術センター 内
企画／CITÉさろん広報委員会
編集／株式会社高速オフセット